

マイライフ・ マイライブラリー

学生の社会的成長を支援する滞在型図書館プログラム

平成19年度 文部科学省
「新たな社会的ニーズに対応した
学生支援プログラム(学生支援GP)」
に採択されました

本取組は、図書館を、学生一人ひとりの潜在的な生きる力を引き出し(=マイライフ支援)、活気に満ちた知的探求の拠点となる「滞在型図書館」=「マイライブラリー」に発展させ、学習支援のために学生アシスタントを積極的に活用する学生協働サポート体制を整備するプログラムです。

このプログラムによって、思考力、行動力、コミュニケーション力、社会人基礎力を身に付け、本学が目指す「女性のキャリア構築力」を養います。



マイライフ・マイライブラリー My Life, My Library

学生の社会的成長を支援する 滞在型図書館プログラム



「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」 に採択されて



東京女子大学 学長
湊 晶子

本学は、創立以来、キリスト教に立脚したリベラル・アーツ教育を理念として、「学生一人ひとりを大切に、一人ひとりの力を伸ばす教育」を目指し、正課教育と連動させつつ、さまざまな正課外の学生支援を全学的に行ってきました。

このたび、図書館を学生生活の中心に位置づけ、知力と人間力の育成を促進させる新たな学生支援プログラムを申請し、採択されました。これを機に更なる学生支援の充実を図りたく願っております。

選定理由より

活字離れが進行し、多くの大学で図書館利用率が減少していると言われる中で、図書館に着目したことのみならず、専門家との連携の下に、学生や大学院生を活用して、学生の図書館利用を支援するという発想に基づく学生支援策は、独自性が認められ、他の大学等の参考となる優れた取組であると言えます。さらに、すでに学生支援目的での図書館の改修というハード面の整備が進み、それと連動させた取組になっている点も、取組の連続性が確保されているという点のみならず、本取組の実現性の面でも優れていると言えます。



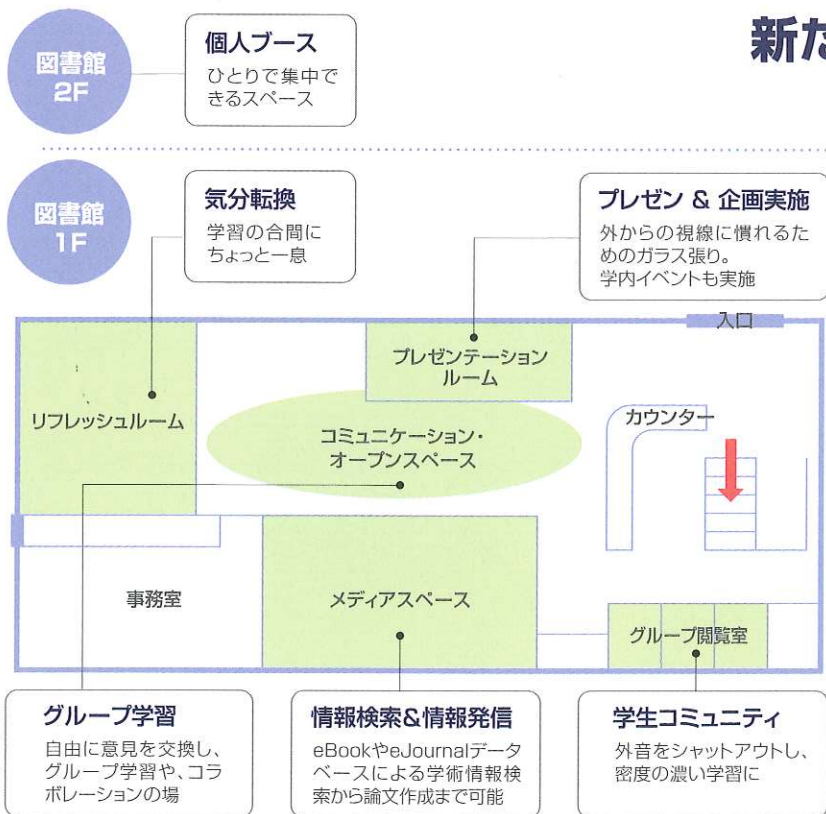
新たなフロア構成がスタート

図書館本来の学習・研究のための環境に加え、多様化する学生のニーズに応えた空間を図書館に用意。

そこには、「活発な交流の場」と「静謐な環境」、「学習」と「くつろぎ」の度合いが異なる複数の空間がひろがります。

その空間を利用して、図書館内学習支援の利用、キャリア・センターやキリスト教センターをはじめ、学内諸部署の主催するイベント、各種の研修セミナー等への参加ができます。

こうして訪れるたびに違う刺激を受けられる滞在型図書館、つまり、学生一人ひとりの「マイライブラリー」に生まれ変わります。

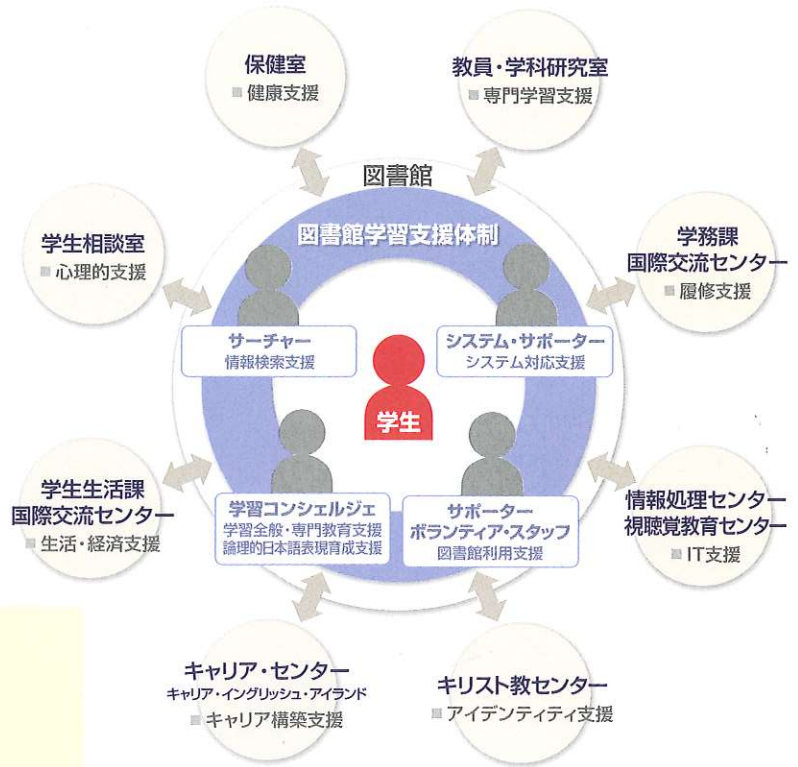


図書館学習支援体制

図書館内に学生アシスタント(ボランティア・スタッフ、サポーター、システム・サポーター、学習コンシェルジュ)による「学生協働サポート体制」を置き、図書館の利用案内、端末操作のサポート、学習全般から専門分野に関する質問へ対応します。

これらの学生アシスタントは、連携を取り合い、チームワークで協働しながら問題解決に取り組んでいくことで、対人コミュニケーション能力、判断力、決断力を養います。このほか、図書館内の情報リテラシー教育を強化する「サーチャー」を置いています。

また、キャリア・センターの就職報告会、キリスト教センターのボランティア活動の報告会等を図書館で実施することで、学習や研究のために訪れる学生とリンクし、学生アシスタントの新たな目標設定の場として、図書館を機能させます。

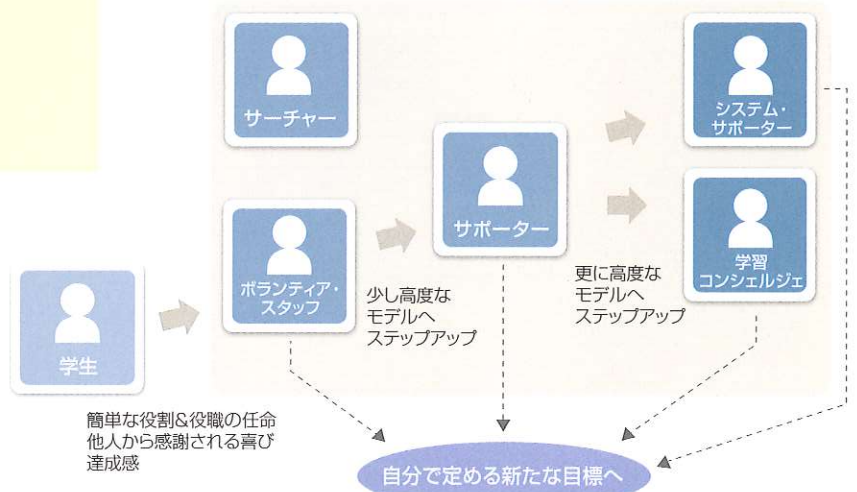


学生アシスタントのステップアップ

「ボランティア・スタッフ」の役割は、図書館の利用案内などの比較的簡単な業務です。研修を受ければ、誰でもできるようになりますが、学習に必要な図書を探せなくて困っている利用者にとって、「ボランティア・スタッフ」の助言はとても感謝されるでしょう。

こうした体験を通じて、少し高度なモデル「サポーター」、更に「学習コンシェルジュ」や「システム・サポーター」へとステップアップしていくことができます。

また、他の学生アシスタントとの協働や交流を通して、全く別の目標が見つかることもあるでしょう。この取り組みを通して、学生の「マイライフ」を支援します。



基礎的日本語能力養成のための初年次学習支援

大学での学習を可能にするスタディ・スキルと、大学生生活の基本となるスチューデント・スキルの習得にとって欠かせない文章表現力を身につけるため、希望者を対象に基礎的日本語能力を養成する学習支援を図書館において行います。

このほかに、携帯電話を利用した漢字・ことわざ・熟語習得用ソフトをはじめとする多種の自習用ソフトが利用できます。



コミュニケーション・オープンスペース



メディアスペース

文部科学省

「新たな社会的ニーズに対応した 学生支援プログラム(学生支援GP)」とは

学生の人間力を高め人間性豊かな社会人を育成するため、各大学・短期大学・高等専門学校における、入学から卒業までを通じた組織的かつ総合的な学生支援のプログラムのうち、学生の視点に立った独自の工夫や努力により特段の効果が期待される取組を含む優れたプログラムを選定し、広く社会に情報提供するとともに、財政支援を行うことで、各大学等における学生支援機能の充実を図るものです。

「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」の国公私立大別の件数と採択率

	国立			公立			私立		
	大学	短大	高専	大学	短大	高専	大学	短大	高専
申請件数	74	—	36	19	1	0	114	28	0
採択件数	21	—	11	6	0	0	21	11	0
採択率 (%)	28.4	0	30.6	31.6	0	0	18.4	39.3	0
	29.1			30.0			22.5		



Tokyo Woman's Christian University

東京女子大学

〒167-8585 東京都杉並区善福寺2-6-1 TEL.03-5382-6285 (図書館)

図書館ホームページアドレス▶ <http://library.twcu.ac.jp/>

■文理学部 哲学科/日本文学科/英米文学科/史学科
社会学科/心理学科/数理学科

■現代文化学部 コミュニケーション学科/地域文化学科
言語文化学科

■大学院 文学研究科/現代文化研究科
人間科学研究科/理学研究科



東京女子大学は2002年度に
(財)大学基準協会の「相互評価」を受け
大学基準に適合していることを認定されています。